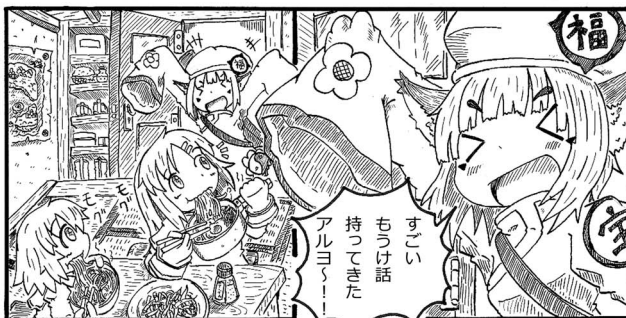


# あらすじ

あるところに、ミルとメイクという姉妹の冒険者がいました。  
ある日、二人がのんびり昼食を食べていると悪友の地図屋チャイが儲け話を持ってきました。それは「砂漠に埋もれた海賊船に偉大な海賊シルバー・ジョナサンが残した莫大な財宝が眠っている。そしてその船の地図を手に入れた。」というものでした。その話がすっかり気に入ったミルとメイクは、チャイから船の地図を買い冒険に出かけました。



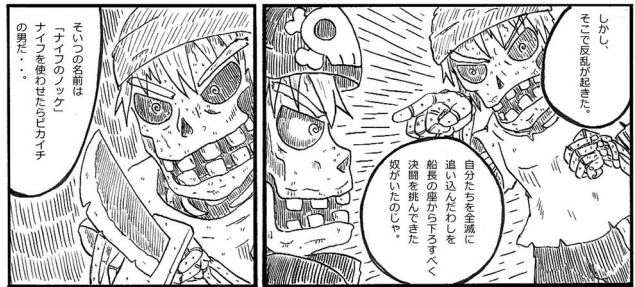
海賊船にたどり着いた二人は、チャイから買った地図を頼りに宝物庫に通じる階段を見つけますが、降りた先はなんと牢屋でした。



チャイから買った地図は間違っているのです。  
二人は途方にくれました。しかし、二人に声を掛けるものがありました。  
それはなんと亡霊となった海賊船の船長シルバー・ジョナサンだったのです！



その昔、シルバー・ジョナサンとその仲間はピラミッドの財宝を求め、砂漠にやってきましたが流砂に飲まれ全滅してしまいました。財宝への執念により亡霊として復活したジョナサン



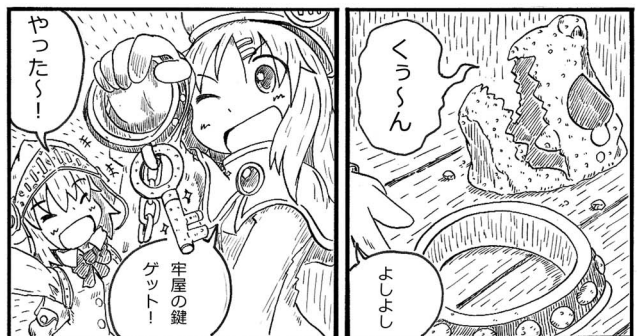
でしたが、部下のノッケの反乱により船長の座を奪われ、牢屋に入れられてしまったでした。ジョナサンは、ミルとメークに「財宝の半分をやるから牢屋から出して、船長に返り咲く手伝いをしてくれ。」と取引を持ちかけます。

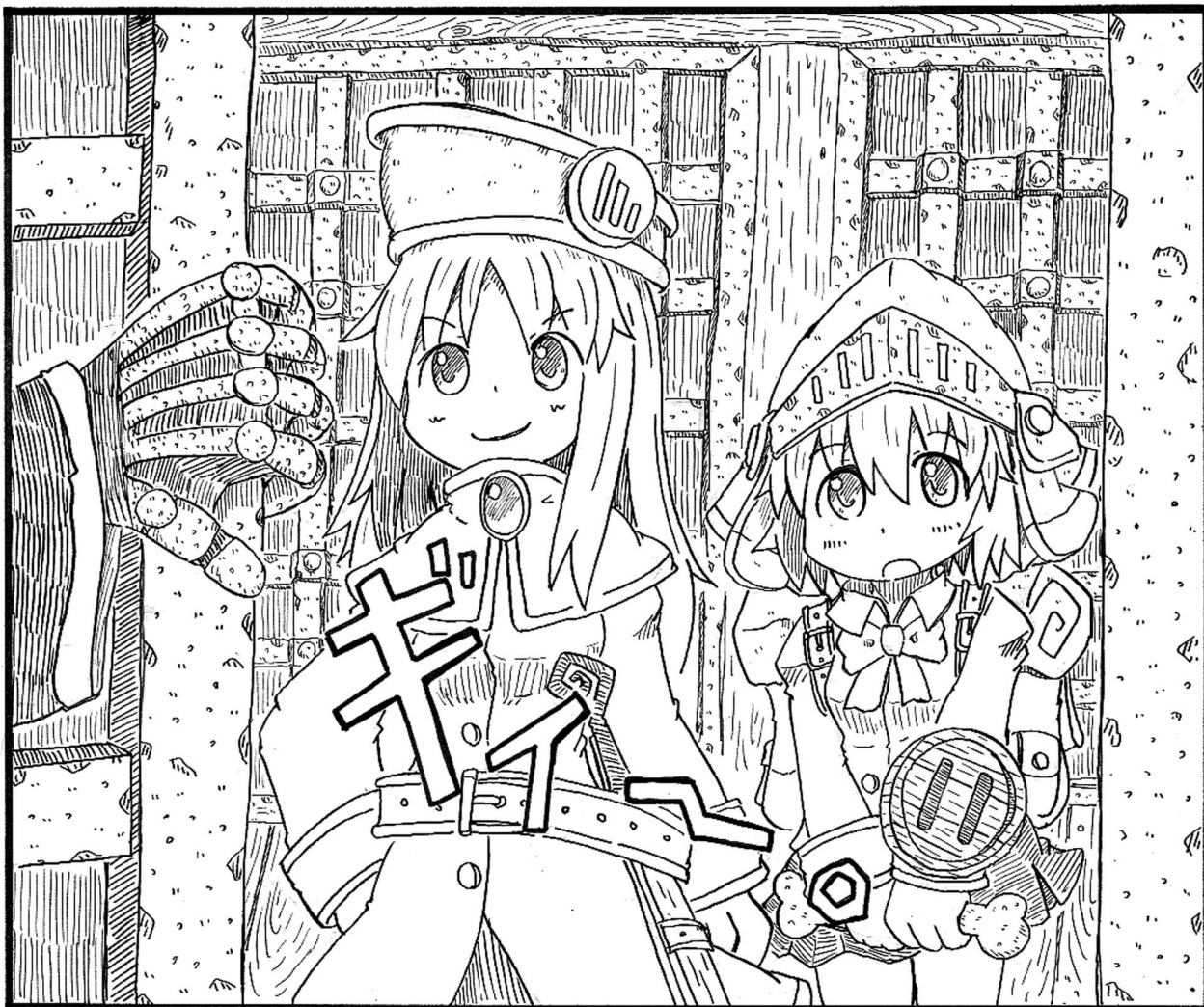
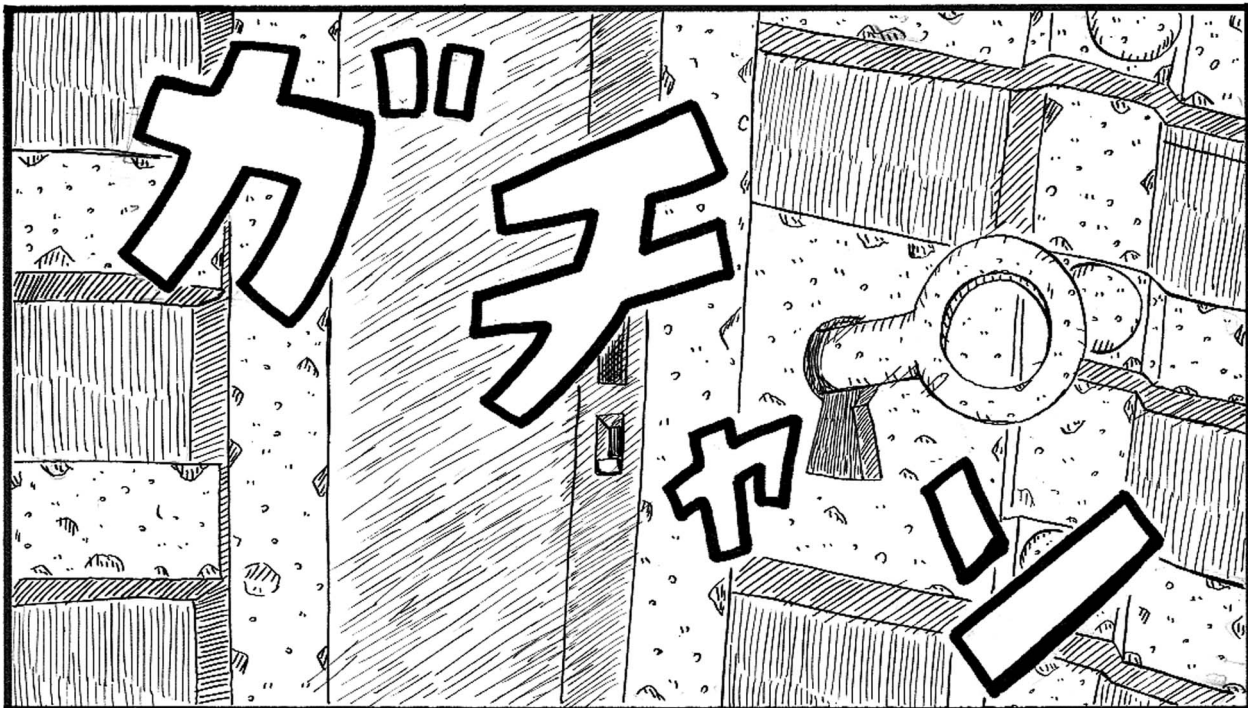


ミルとメークは話し合いの末、取引に応じることにしました。



そしてジョナサンを牢から出すために、鍵を守っているモンスターアンデット・ビーストと戦闘。奮戦の末、ミルとメークはモンスターを倒し、牢屋の鍵を手に入れる事に成功したのです！







やっぱり  
シャバの空気は  
いいの。

いや。

コキ  
コキ

シルバー・ジョナサンが仲間になった！



分かってるわい！  
砂船に乗ったつもりで  
ドンと任せろ！

あ。

ドン



まったく。  
出すのに苦労  
したんだから  
約束は守ってよね。

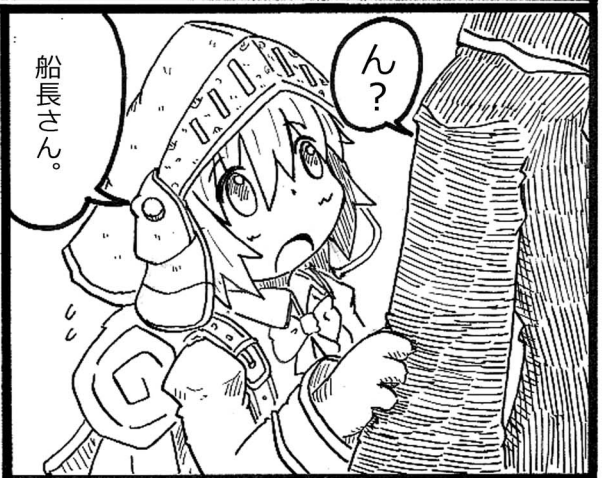
イヤ



お返しします。

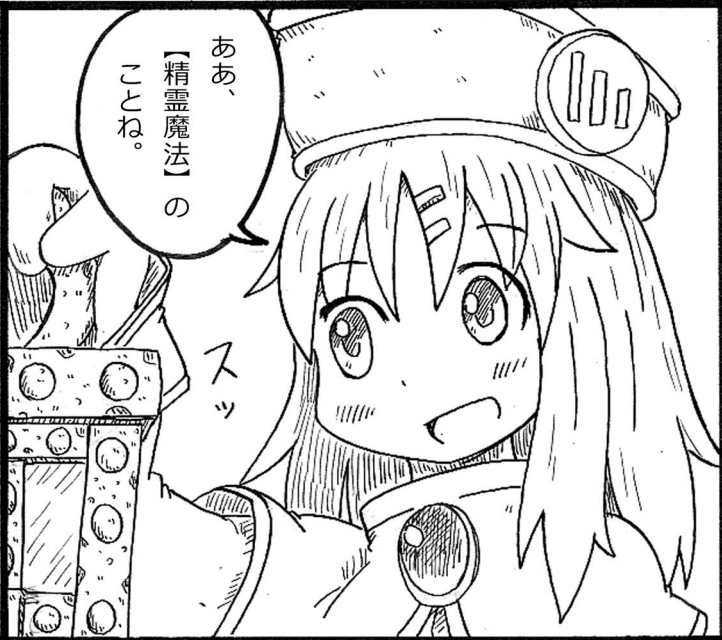
おお！

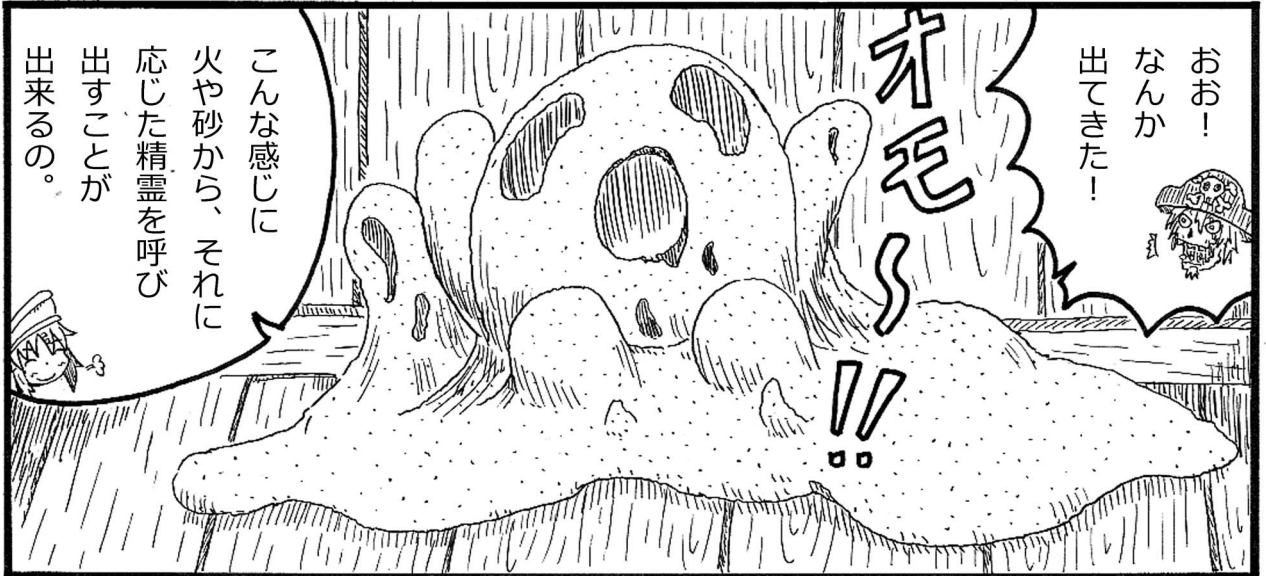
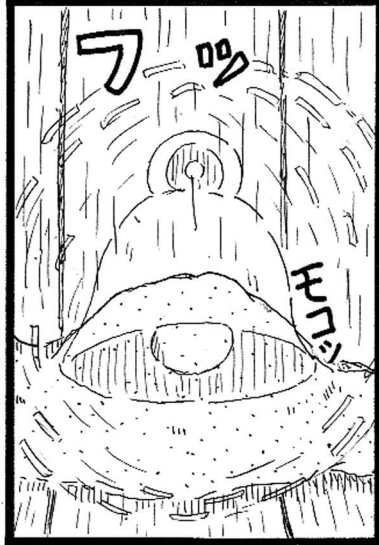
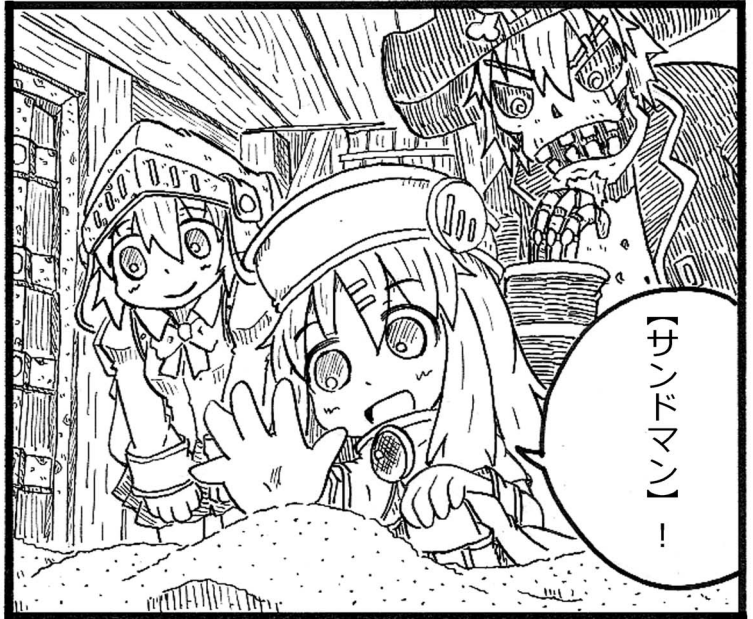
腕を投げちゃって  
ごめんなさん。



船長さん。

ん？







それで、  
呼び出した  
精霊に命令を  
して魔法を使って  
もらうのよ。

フレイム

わん

わん

おて!!

わん

ポン

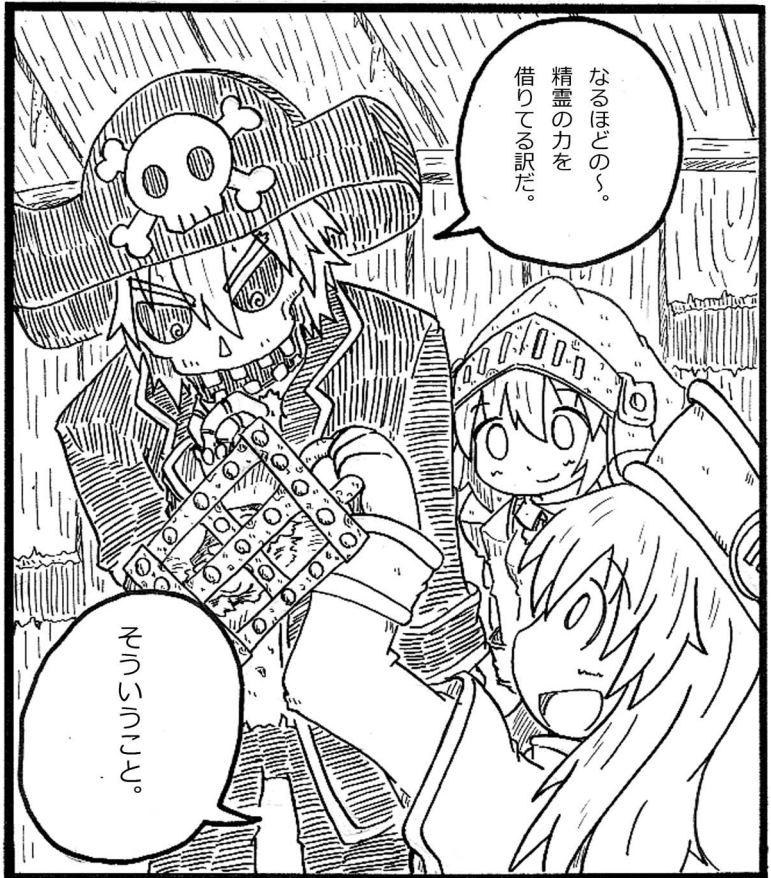
ベッタに芸をさせるのと  
同じ様な要領ね。



何はともあれ  
これからの戦いで  
頼りになるわい。

わかん

エヘン!!



なるほどの。  
精霊の力を  
借りてる訳だ。

ニニニニニ。



でもさ、  
戦うにしても、  
三人だけで大丈夫なの？  
相手はたくさん  
いるんですよ？



大きな利点？

そうですね。



確かに、数では  
ワシの方が  
圧倒的に不利だ。

しかし、ワシらにも  
とても大きな利点が  
あるぞ。

？

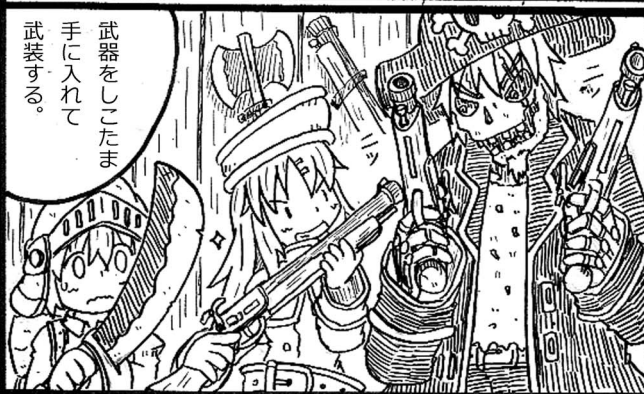


それはな……

奴らがまだ、  
ワシが牢屋の中に  
いると思っていること。  
そして、頼りになる助っ人を  
手に入れたということを知らんことじゃ。



その間に  
ワシらは  
船の武器庫に  
行って



武器をじこたま  
手に入れて  
武装する。



ノツケ達がピラミッドから  
財宝を持ち帰り  
戻ってくるにはまだしばらく  
時間があるはずじゃ。